



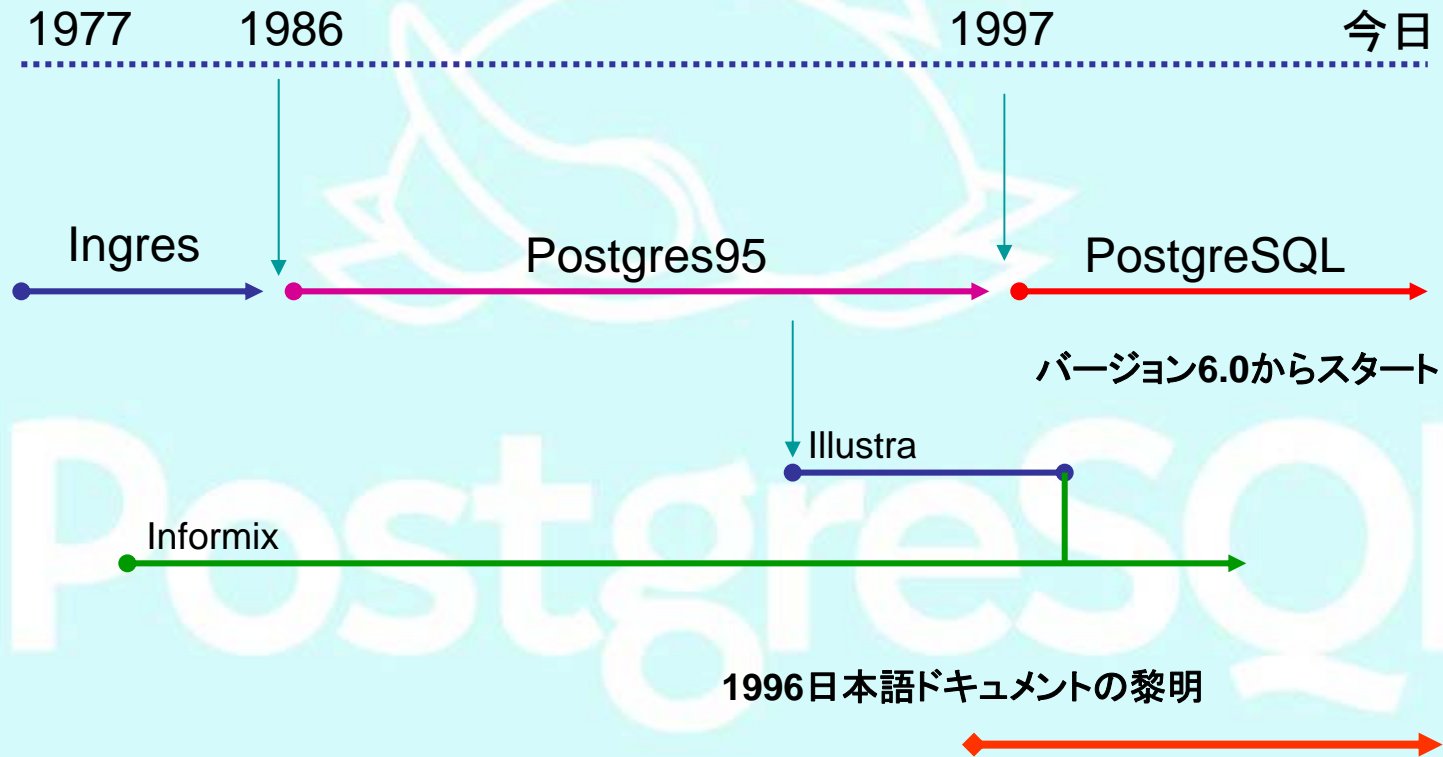
JPUG分科会活動報告

コミュニティトラック

文書・書籍関連分科会

JPUG 石川俊行

PostgreSQLの歴史ひとこと



メーリングリストの立ち上げから

- 1996年後半、Postgres95マニュアルの翻訳プロジェクト開始
- プロジェクト参加者によるドキュメント翻訳が始まる
 - 有志による作業が続く
- バージョン6.3.2から6.5.3移行過程でpgsql-docメーリングリストを立ち上げる
- 2000年後半、バージョン7.0.2のドキュメント翻訳に挑戦と
いった時期
 - Bruce Momjian “PostgreSQL – Introduction and Concept” の翻訳プロジェクトが始動
 - 新たな翻訳分科会をJPUG内で立ち上げ、翻訳参加者を募う
 - 付録としての「参照マニュアル」は配布物同梱のマニュアルであったため、一気にPostgreSQLマニュアルが整備された

文書・書籍関連分科会の誕生

- 2001年8月、ブルースさんの翻訳本出版
 - 「はじめてのPostgreSQL」



- 出版完了でBook翻訳分科会の目的は達成されたと判断したため、分科会を解散。新たに2002年度より文書・書籍関連分科会として活動を開始。
 - メーリングリストのアドレス、会員はそのまま引継ぎ、現在に至る

文書・書籍関連分科会の目的

- PostgreSQL 関連の文書の翻訳、作成、整備、書籍出版等ドキュメンテーション全般に対して作業を行う
 - 現時点では配布物のドキュメント翻訳で手一杯が偽らざる現状
 - 翻訳にこだわることなく、広く協力者を募集
 - 活動に対するアイデアも大歓迎
 - 紙ベースになるか、Webページになるを問わず PostgreSQLに関する日本語のアーカイブを目指したい

とりあえずメインのドキュメント翻訳

- 配布物を解凍します
 - 解凍したディレクトリ/postgresql-8.3.x/doc/src/sgml
 - Makefile, acryonyms.sgml, adminpack.sgml, advanced.sgml, arch-dev.sgml, array.sgem
etc.
- これらのSGMLファイルの英語部分のタグをコメントアウトして日本語にします

やってみたいSGMLをメーリングリストで

「**私**やります」と表明します。重複を避けるためです

作業の中身のサンプル

<!--

<indexterm zone="backup"><primary>backup</></>

-->

<indexterm zone="backup"><primary>バックアップ</></>

<para>

<!--

As with everything that contains valuable data, <productname>PostgreSQL</> databases should be backed up regularly. While the procedure is essentially simple, it is important to have a clear understanding of the underlying techniques and assumptions.

-->

貴重なデータを全て保存しているため、<productname>PostgreSQL</>データベースは定期的にバックアップされなければなりません。

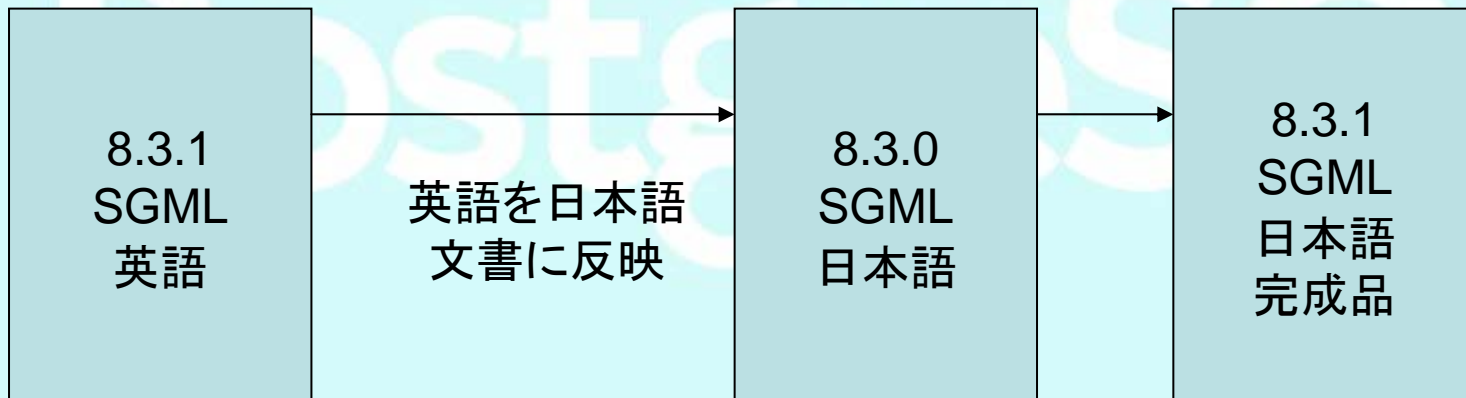
バックアップの手順は基本的に簡単ですが、使用されている諸技術といくつかの前提条件を明確に理解しておくことが重要です。

</para>

1からやるわけではありません

- 最新版の日本語化されたSGMLファイルは分科会のWebから入手できます
- 方法は2つあります
 - 新旧のオリジナル sgmls の diff を取り、変更点を確認する
 - 日本語化された旧ファイルを最新の英語ファイルに反映
 - 最新の英語ファイルを基にして、日本語化された旧ファイルを更新
 - 原文の更新度合いによりますが、前者の方が翻訳の見直しを含め良いのではないかと私は思います(ところが殆んど更新のないファイルに対しては作業は大変)
状況に応じて適宜
- ファイルのコードは euc-jp にしてください

作業のイメージ



分科会への参加

- JPUG正会員、もしくはWeb会員に登録してください
- 次に、当分科会に以下のURIから登録してください
<http://ml.postgresql.jp/mailman/listinfo/jpug-doc/>
- 以上です

堀田さんのジョーク紹介

1. (標準)SQLの知識
2. PostgreSQLのCソースを読みこなす能力
3. PostgreSQL以外のDBMSに関する知識
4. SGMLの知識
5. HTMLの知識
6. CVSの知識
7. 英語力
8. SGMLのソースをHTMLに変換することのできるツールに関する技術
9. 下手な日本語や直訳調の翻訳モノを読むと、なぜか背中がかゆくなってくるといったような、日本語に関するセンス
10. 他人が書いた日本語の文章を読んで、重箱の隅をつつくことができる注意力
11. 何か自分が貢献できることはないかというモチベーション
12. 暇:-)

注: 堀田さんはスライドの最初で触れた「プロジェクト参加者によるドキュメント翻訳が始まる」の有志のおひとりです。

翻訳以外

- 査読
 - 翻訳成果を検証していただくことは重要です
 - 結果の日本語だけ読んでいただいで結構です。そこで、？をフィードバックしてください
 - 致命的な翻訳間違いはもとより、単純なタイポの指摘もドキュメントの品質向上に欠かせません
- こんな資料日本語にならないの！
 - 募集
 - みんなでやりませんか？

付録(ドキュメントのコンパイル)

- sgml文書はHTML、manドキュメント形式にコンパイルできます
- 解凍してできたソースを./configureするとき終わりの方に次のスライドで示す項目があることを確認してください。無い場合は必要なモジュールをインストールしてください
- ドキュメント
<http://www.postgresql.jp/document/current/html/docguide.html>
を参照参照してください

./configureの出力をチェック

RHE4での例です

これらが通っていることを確認してください

checking for **onsgmls** ... onsgmls

checking for **openjade** ... openjade

checking for **DocBook** V4.2 ... yes

checking for **DockBook** stylesheets ...

/usr/share/sgml/docbook/stylesheets

checking for **collateindex.pl** ...

/usr/bin/collateindex.pl

checking for **sgmlspl** ... sgmlspl

コンパイルの実行

- 設定はその他いろいろありますが、一言で
 - gmake html
 - gmake man
 - gmake postgres-A4.pdfらしい(日本語の場合はおまじないが必要)



時間があればコンパイルの実演をします

- 分科会活動にぜひご参加ください。

おまじない

- 解凍したソース

postgresql-8.3.1/src/backend/catalog に

- sql_features.txt と sql_feature.packages.txt があるので、これらのファイルの日本語化したもの、sql_features.txt.jp と sql_feature.packages.txt.jp を同じディレクトリに配置する

- 解凍したソース

postgresql-8.3.1/doc/src/sgml にある stylesheet.dsl を編集する

- html を明示的に EUC_JP にするため
- charset=ISO-8859-1 を charset=euc-jp にする

ではコンパイル開始

- postgresql-8.3.1/ で
 - gmake clean
 - ./configure
- postgresql-8.3.1/doc/src/sgml に移動して
 - gmake html
- Coffee でも
- でき上がったら、ブラウザで index.html を表示

おわり

長時間ご清聴ありがとうございました

PostgreSQL